

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
建設部	防犯交通安全課	防犯交通安全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	11	11	交通安全指導推進に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	25,711千円	27,436千円	0千円
	総人件費	0千円	7,890千円	7,890千円	
	総事業コスト	0千円	33,601千円	35,326千円	

事務事業名	01 交通安全啓発事業				指標名	受講者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	交通安全教室を受講された人数(自転車シミュレータ教室含む)				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-					25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人								
	-				実績	25,117人	26,514人	28,011人	26,353人	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-					高年齢者の安全対策として反射材の着用を促進する。高年齢者運転免許自主返納支援事業の周知活動を行い、自主返納者の増加を図る。														
	-					高年齢者の安全対策として反射材の着用を促進する。高年齢者運転免許自主返納支援事業において、「つくバス」「つくタク」の乗車券を進呈しているが、利用できない地区もあるため、その他の手法(路線バスの乗車券等)を調査研究し導入する。														
市長公約	-				事業計画	交通安全教室を年間400回以上を開催する。つくば中央署管内・北署管内それぞれ年間4回の交通安全キャンペーンの実施する。県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。運転免許証返納者に「つくバス」、「つくタク」の乗車券やグッズを進呈する。補助金交付申請に基づき、補助金を交付する。				交通安全教室を年間400回以上を開催する。つくば中央署管内・北署管内それぞれ年間4回の交通安全キャンペーンの実施する。県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。運転免許証返納者に「つくバス」、「つくタク」の乗車券やグッズを進呈する。補助金交付申請に基づき、補助金を交付する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	つくば市交通安全計画													事業費(A)	0千円	25,711千円	27,436千円	0千円		
根拠法令等	交通安全対策基本法 道路交通法 県民交通災害共済条例				活動実績	交通安全教室開催 400回 26,431人 自転車シミュレーター教室開催 30回 816人 交通安全キャンペーン実施(つくば中央署管内・北署管内) 春2回、夏2回、秋2回 年末2回 県民交通災害加入者 4,209人、見舞金請求件数 50件、支給総額 4,390,000円 高年齢者運転免許自主返納者 295人 警察署と連携を図るとともに、HPや高年齢者向けの交通安全教室時にチラシを配付するなど周知に努めた。また、高年齢者の安全対策として反射材を交通安全教室時などに配付した。補助金交付申請に基づき、補助金を交付(6団体)				-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事業分類	A 任意的事業				成果	各年齢層に即した教室を開催し、交通安全意識の向上が図れた。交通安全キャンペーンを通じて、市民等への交通安全の周知・啓発が行えた。交通事故見舞金を支給し、加入者の救済が図られた。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ				課題		高年齢歩行者に対する有効的な交通安全教育を図っていく必要がある。				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	地域の実情や要望に応じた交通安全運動・教室等を開催し、市民の交通安全意識の高揚及び交通事故防止の推進を図るため。					事業の概要	交通安全教育指導員により、市内の小中学校、高年齢者団体等において、年齢層に即した交通安全教室を開催する。春・夏・秋・年末の交通安全キャンペーンを開催する。県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。運転免許証を自主的に返納した65歳以上の高年齢者に対して「つくバス」などの乗車券を進呈する。補助金交付申請に基づき、補助金を交付し、有効かつ効果的な交通安全啓発活動を支援する。				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事業の概要						事業の進捗状況	達成				-				一般財源	0千円	25,711千円	27,436千円	0千円
ISO 14001		H29 環境関連性	-			評価		有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H31年度当初積算根拠	-	理由	-
	H30 環境関連性	-			効率性		中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
															事業コスト(A+B)	0千円	33,601千円	35,326千円		
															人件費(B)	0千円	7,890千円	7,890千円		
															正職員	従事割合	0.00人	1.00人	1.00人	
															正職員	時間外勤務	0.00時間	310.00時間	310.00時間	
															臨時職員等	有	有	有		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	13,955千円	16,335千円	17,797千円	0千円
	総人件費	3,928千円	3,807千円	3,807千円	
	総事業コスト	17,883千円	20,142千円	21,604千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	防犯交通安全課	防犯交通安全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	11	12	施設整備に要する経費

事務事業名	01 交通安全施設整備事業				指標名	新設箇所数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	交通危険箇所に交通安全施設(カーブミラー・回転灯等)を新設した箇所数	
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-				実績	97件	79件	66件	121件	-					その他の指標	-	
	-																
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度							
	-																
	-																
市長公約	-				事業計画	カーブミラー、赤色回転灯の新設・修繕及び路面標示(スクールゾーン)の溶着をする。				カーブミラー、赤色回転灯の新設・修繕及び路面標示(スクールゾーン)の溶着をする。							
個別計画	つくば市交通安全計画																
根拠法令等	交通安全対策基本法				活動実績	カーブミラー新設(111基) 赤色回転灯新設(2基) 路面標示(スクールゾーン)8箇所 カーブミラー修繕(115基) 赤色回転灯修繕(16基)				上半期活動実績							
事業分類	G 建設等事業																
執行体制	職員のみ				成果	交通危険箇所の安全対策が図れた。				上半期成果							
事業の目的	交通事故を未然に防止し、市民の安全を確保するために交通安全施設の整備を図るため。																
事業の概要	区会等からの要望に対して、現地を確認し、必要な交通安全施設(カーブミラー、赤色回転灯等)の新設・修繕を行う。				課題												
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-				
	H30 環境関連性	-				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-							
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-							
												H31年度当初積算根拠					
												H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
建設部	防犯交通安全課	防犯交通安全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	12	11	防犯対策に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	155,076千円	132,758千円	0千円
	総人件費	0千円	11,785千円	11,785千円	
	総事業コスト	0千円	166,861千円	144,543千円	

事務事業名	02 地域安全活動事業			指標名	実施箇所				指標種別	活動結果指標		指標の概要	市内全域の防犯パトロール実施箇所数			
	II	5	2	犯罪に強いまちづくりの推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-			目標値	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標	-			
	-			実績	29,622箇所	23,243箇所	26,350箇所	25,723箇所	-							
総合戦略	IV 2 2 犯罪に強いまちづくりの推進			H29年度				H30年度								
	-			改善目標	防犯・環境美化サポーターによるつくばエクスプレスみどりの駅周辺のパトロールを強化し、自転車盗難を未然に防止する。				改善目標 不審者情報や暴走行為車両の情報箇所を、防犯・環境美化サポーターのパトロールを強化するとともに、警察署と連携し、犯罪を未然に防止する。							
市長公約	-			事業計画	防犯・環境美化サポーターによる市内全域の防犯パトロールを実施する。 防犯ベストの給付や全国市長会市民総合保険の適用など自警団等の活動を支援し、安全安心なまちづくりを推進する。 ジョギングパトロール加入促進のためPR活動を行う。 負担金交付申請に基づき、負担金を交付する。				事業計画 防犯・環境美化サポーターによる市内全域の防犯パトロールを実施する。 防犯ベストの給付や全国市長会市民総合保険の適用など自警団等の活動を支援し、安全安心なまちづくりを推進する。 ジョギングパトロール加入促進のためPR活動を行う。 負担金交付申請に基づき、負担金を交付する。							
個別計画	-				活動実績	(防犯・環境美化サポーター) TX4駅周辺を中心にパトロールを実施した。 車両広報25,723回、パトロール(金融機関7,725箇所、学校周辺9,002箇所、コンビニ12,882箇所、駐車場10,899箇所、その他3,017箇所) (自警団) ベスト給付枚数 6団体 75枚支給 (ジョギングパトロール) 防犯キャンペーン等に参加し、ジョグパト活動のPR 新規登録者35名(平成29年度末登録者数684名) 防犯協会に負担金を交付				上半期活動実績 -						
根拠法令等	つくば市民の生活安全の推進に関する条例			成果		防犯パトロール活動、自警団の活動の活性化、ジョグパト事業の認知度が高まり、参加者が増加等により、犯罪の予防・抑止効果が図られ、犯罪の抑止に繋がった。				上半期成果 -						
事業分類	A 任意的事业				課題	不審者情報・暴走行為車両の情報多数傾向にあるため、対策検討の必要がある。				課題 -						
執行体制	職員のみ			事業の進捗状況		達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-	
事業の目的	防犯活動等を各地区団体等と協力連携して推進し、犯罪を未然に防止することにより、市民生活の安全を確保し、明るく住みやすいまちづくりを図るため。				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-						
事業の概要	防犯・環境美化サポーターが18名9班体制で、7時から24時まで市内全域を巡回パトロールを実施する。防犯キャンペーンなどによる防犯グッズ・チラシの配布する。また、茨城県警察音楽隊によるコンサートを開催し、防犯の広報活動及び啓発活動を実施する。自警団等の防犯ボランティア団体に対し、防犯ベストや青色合図灯の給付、保険加入等の活動支援を行う。市民参加によるジョギングなどの機会を通じて地域のパトロールを強化させる。防犯協会へ負担金を交付し、有効かつ効果的な防犯活動を支援する。生活安全推進に関する事項について協議・検討するため、生活安全推進協議会を開催する。			効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			H31年度の方向性	-	理由	-	
	ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						
	H30 環境関連性	-	-													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	155,076千円	132,758千円	0千円
	総人件費	0千円	11,785千円	11,785千円	
	総事業コスト	0千円	166,861千円	144,543千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	防犯交通安全課	防犯交通安全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	12	11	防犯対策に要する経費

事務事業名	03 防犯施設整備事業			指標名	防犯灯新設基数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	防犯灯新設基数										
	戦略プラン	II	5	2	犯罪に強いまちづくりの推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度								
		-	-	-	-	380基	420基	400基	400基	400基	400基				400基								
実績				414基	455基	331基	461基	-															
総合戦略	IV	2	2	犯罪に強いまちづくりの推進	H29年度				H30年度				その他の指標	-									
	-	-	-	-	改善目標	通電されていない防犯灯が存在するため、関係機関等と協議し早急に対応する。				改善目標	通学路及びTX沿線開発住宅地区に、防犯灯を計画的に設置する。												
	-	-	-	-																			
市長公約	No.52			事業計画	防犯灯新設については、通学路を優先し、また、区会等からの要望に基づき、必要な場所に400基新設する。防犯カメラをつけばエクスプレス4駅周辺協道に10箇所18基新設する。				事業計画	防犯灯新設については、通学路を優先し、また、区会等からの要望に基づき、必要な場所に400基新設する。防犯カメラを市内の不特定多数の者が利用する道路・公園・広場等に5箇所10基新設する。(場所未定)「明るいまちづくり協議会」を年3回程度開催し、街路灯及び防犯灯に関する調査及び設置に関することを協議する。(平成30年度道路部門より防犯交通安全課に移管)				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初					
個別計画	-													事業実施コスト	0千円	90,141千円	81,272千円	0千円	0千円				
根拠法令等	防犯灯設置要綱													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	G 建設等事業			活動実績	LED防犯灯を477基新設した。土浦土木事務所及び警察署と協議し、りんりんロードに、ソーラー式のセンサー付きLED防犯灯を54基新設した。防犯カメラをつけばエクスプレスつくば駅を除く3駅周辺に10箇所18基新設した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	0千円	90,141千円	81,272千円	0千円					
執行体制	職員のみ													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	防犯施設(防犯灯・防犯カメラ)等を設置することにより、安全で安心して暮らせる地域社会を構築するため。													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	平成28年度に、約20,000基ある既存防犯灯のLED化を「10年間のメンテナンス付リース事業」を行っている。また、犯罪の発生が予想される箇所に、防犯カメラを設置する。			成果	犯罪の抑止に寄与した。				上半期成果	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
														一般財源	0千円	90,141千円	81,272千円	0千円					
														人件費(B)	0千円	6,242千円	6,242千円						
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 地球温暖化の防止		達成	課題	通学路(りんりんロード含む)への新設要望への対応				課題	-				H31年度当初積算根拠	-							
		LED防犯灯の設置を推進し、電気を減らし、CO2の削減に寄与する。		事業の進捗状況														達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況
	H30 環境関連性	○ 地球温暖化の防止		達成														有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-	
LED防犯灯の設置を推進し、電気を減らし、CO2の削減に寄与する。		評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-																
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-															